

# 博物館だより



〔収蔵資料紹介〕 サロン蓄音機（英グラモフォン社, HMV Model 163）

製造年代：昭和2～6年（1927～31）、幅56.0cm×奥行55.0cm×高101.0cm

本機（HMV Model 163）は、キャビネット前面に観音開きの扉を備え、透かし彫りで装飾されている。右側面にはゼンマイを回すハンドルの挿入口があり、ゼンマイは2つ内蔵され（いわゆる「二丁ゼンマイ」）、長時間の再生を可能にしている。再生終了後には、ターンテーブルを自動停止する機能も備える。中級機ではあるが故障が少なく、このサイズでは最大の音量を出せる機種の一つでもあって、一般家庭やカフェ、ダンスホールなどで広く用いられていた。

製造元の英グラモフォン社（ロンドン、1897年設立）は、円盤型蓄音機「グラモフォン」を製造・販売したベルリーナ・グラモフォン社（ドイツ、1895年創設）から派生した企業の一つ。これらの系列企業では、1900年にフォックスステリア（愛称・ニッパー）のマークを採用、そのキャプションである「His Master's Voice」の頭文字から、同社の蓄音機は「HMV」と呼ばれた。



（柿沢亮夫氏寄贈）

利長くん

Takaoka Municipal Museum

## 平成25年度の高岡市立博物館

### ◆常設展「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」にて開催◆

5月14日より、常設展「高岡ものがたり」において、高岡漆器の体験コーナー「“しつき” ってどんなもの？きみも高岡漆器にふれてみよう！」を開設しました。菓子鉢や盆、茶托など10点を展示し、実際の資料を手にとりながら、漆器特有の光沢や質感を間近で見ることが出来ます。

6月28日には、「ペン型音声ガイド」を導入しました。本展示パネル50枚を各1～2分程度でまとめて解説し、「耳で聞き学ぶ展示」を通して常設展の新たな魅力発信につとめています。

平成26年1月10日からは、「新春！めでたづくし」と題し、高岡市出身の漆芸作家・彼谷芳水作「鳳凰文飾盆」（越野培名男氏・越野信子氏寄贈）をはじめ、本年の干支・午（馬）、七福神、鯛などの新春を迎えるにふさわしい当館収蔵資料7件11点を展示しました（2月28日まで）。



「きみも高岡漆器にふれてみよう！」  
コーナーの開設



ペン型音声ガイドの導入



「新春！めでたづくし」(1/10～2/28)

企画展「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」（前期展：6/1～8/18、後期展：8/20～10/14）では、民俗資料約60点を展示し、それぞれの用途や歴史に加え、道具の変遷について紹介しました。特別展「たかおか町絵図探訪！」（会期：7/27～10/14）では、所蔵する近世～現代の町絵図、地図、写真などを中心に77件149点の資料を展示し、高岡の町々の成り立ちや歴史について紹介しました。2月からの館藏品展「未来へつなく高岡のお宝 ー新収蔵品を中心にー」では近年新たに収蔵した資料や、これまで展示する機会の少なかった資料を中心に81件90点を展示しています（5月6日まで）。

郷土学習講座では、前田利長400回忌記念「いま光り輝く 前田利長のすべて」をテーマに、高岡開町の基礎を築いた利長の大きな功績や志について各研究者よりご紹介いただきました（計5回）。そのほか、桜の開花時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」、30分間のショートレクチャー「土曜おもしろ講座・高岡のみじかい話」（計11回）、呈茶の会「松聲庵」（4月、11月）、ワークショップ「切り紙で千石船をつくろう！」（4月）、「たかおか歴史探検隊！きみも1日学芸員になってみよう」（8月）、古文書講座「初めての古文書教室」（1月～2月。計4回）を開催しました。



郷土学習講座 第1講  
樽谷氏講演(5/18)



企画展「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」(6/1～10/14)



特別展「たかおか町絵図探訪！」  
展示説明会(7/27)

# 館蔵品展「未来へつなぐ高岡のお宝 - 新収蔵品を中心に -」

〔会期：平成26年2月8日（土）～5月6日（火・祝）〕

博物館の重要な役割は、資料の「調査・研究」、「展示」、「教育普及活動」などが挙げられます。博物館では、「資料」を寄贈・購入・寄託などの方法により収集し、調査・整理して、日頃からその保存管理に努めています。ちなみに当館でいう「資料」とは、高岡を中心とした郷土の歴史・文化を語るうえで欠かせない貴重な文化財のことです。

博物館は郷土の歴史・文化の継承・発展のために日々活動を続けています。それは貴重な資料を当館へ寄贈（・寄託）してくださる皆様のご協力があってはじめて成り立つことです。本展に出品した貴重な資料をご寄贈賜りました皆様には、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。本展では、これら年々多く収蔵される資料のうち、近年新たに収蔵した資料や未公開の資料を展示・紹介します。ここではそのうちのいくつかを紹介します。

歴史資料では「越中射水郡城光寺村御印」（山本峯一氏寄贈）を紹介します。これは寛文10年（1670）城光寺村に宛てられた年貢割付状です。年貢率は61%ですが、年貢米のほか口米や尖銀などを合わせて実際には約70%の負担だったことが読み取れます。このほか、「高岡市街図」（古谷喜代美氏寄贈）、『富山県伏木青年学校要覧』（望月保氏寄贈）などを紹介します。民俗資料では、明治期の「家庭用アイスクリーム製造機（塩崎利平氏寄贈）」を紹介します。これは従来の手回し攪拌が不要で、時折容器を振って置いておくことにより、夏場でも40分でアイスクリームが完成し、10時間の保存が可能になるというものです。このほか、「日劇映画幀幕」（林玄三氏寄贈）、「合わせ水の竹筒」（金戸嵩氏寄贈）などを紹介します。美術資料では、「黒田焼徳利」（寺田白樺洞寄贈）を紹介します。これは、角陶風作の黒田焼（射水焼）の徳利に筏井竹の門が絵付した合作資料です。このほか、高瀬竜一作「涼風文蒔絵茶入」（当館蔵）、石井勇介作「グリ文堆朱長手盆」（当館蔵）などを紹介します。このほかにも数多くの貴重な新資料を展示・紹介します。



アイスクリーム製造機  
（明治期。塩崎利平氏寄贈）

## ◆新収蔵資料紹介（平成26年1月31日現在）

### 1 購入（5件7点。購入順）

No	資料名称	数量	分類
1	伏木関係絵葉書	3	歴史
2	越中新湊町鳥瞰図リーフレット	1	*
3	高岡市商品陳列所商品目録	1	*
4	石井勇介作「グリ文堆朱長手盆」	1	美術
5	高瀬竜一作「涼風文蒔絵茶入」	1	*

### 2 寄贈（68件906点。受入順）

No	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	高岡町方文書	75	歴史	小松達朗氏
2	『増補日本外史』	12	*	山本勇氏
3	江川家存証券類・大福帳	40	*	江川正純氏
4	写真「東宮殿下御台覧之風景」	1	*	大智明夫氏
5	バックル（高岡博協賛会）	1	*	林澄童氏
6	高岡産業博覧会案内図	1	*	*
7	ことぶき入場券	1	*	佐藤笑子氏
8	藤井能三書状（木材運送船取り扱いの報告）	1	*	小沢昭口氏
9	「高岡市街図」	1	*	古谷喜代美氏
10	俳句誌『白樺』『閃光』『あしつき』	7	*	*
11	高峰幸伯墓記事切抜	1	*	*
12	マッチ箱ラベルファイル	1	*	金戸嵩氏
13	各種記念写真（大日本陸軍人協会 高岡同好会 高岡同好会 日之出自動車会）	3	*	野尻嘉昭氏
14	藤本弘氏直筆手紙	3	*	保科齊彦氏
15	油町尋常高等小学校通知表	1	*	林玄三氏
16	『富山縣概観』	1	*	匿名希望
17	千人針	1	*	中澤守氏
18	鏡台	1	民俗	深田加代氏
19	SPレコード（『富山おどり』『高岡シャンソン』）	1	*	匿名希望
20	日劇映画幀幕	1	*	林玄三氏
21	合わせ水の竹筒	1	*	金戸嵩氏
22	手回し計算機	1	*	*
23	計算機（カシオ、R-11）	1	*	荒俣勝行氏
24	螺鈿菓子器（富山漆器）	6	美術	木村圭喜氏
25	大橋二水筆「七絶」	1	*	匿名希望
26	彼谷芳木作「鳳凰文飾盆」	1	*	越野培名男氏 越野信子氏
27	室崎家関係資料	442	歴史	室崎信一氏
28	高岡市街図（便利図・見取図）	37	*	匿名希望

No	資料名称	数量	分類	寄贈者
29	高岡市内地図資料	47	歴史	高岡市資産課
30	三上山郷土資料館・山本家旧蔵資料	31	*	山本峯一氏
31	『高岡市民讀本』	1	*	寺田白樺洞
32	茶会出品目録（聖安寺・超願寺）	2	*	匿名希望
33	伏木関係絵葉書	4	*	*
34	伏木関係絵葉書	10	*	*
35	高岡関係絵葉書	2	*	*
36	「伏木港輸入貨物累年表」	1	*	*
37	「伏木港要覧」	1	*	*
38	「伏木港」	1	*	*
39	大木山國泰寺絵葉書	6	*	*
40	絵葉書「港の大雪」	9	*	*
41	地形図「伏木」	1	*	*
42	高岡名工直筆寄書帳	1	*	*
43	高岡電灯株式会社新築記念絵葉書	5	*	*
44	「夕日の曲禮」完成式典写真	1	*	*
45	アイスクリーム製造機	1	民俗	塩崎利平氏
46	亀に牡丹散模様道中巻	1	*	藤平和子氏
47	電気掃除機	1	*	*
48	着物（振袖山水模様友禅染打掛・帯に袴模様の友禅染章衣）	2	*	尾崎絹代氏
49	提灯「高岡電灯株式会社」	1	*	匿名希望
50	足踏みオルガン	1	*	*
51	藤子・F・不二雄関連資料（書籍等）	14	*	小学館
52	藤子・F・不二雄関連資料（フィギュア）	4	*	匿名希望
53	Sum Film映写機（チノン、サウンド7200）	1	*	*
54	上皿自動秤	1	*	朝日勢津子氏
55	上皿秤	1	*	藤平和子氏
56	教育関係古書籍	31	*	中村喜久雄氏
57	美術教育関係古書籍	59	*	寺田白樺洞
58	岡本清右衛門商店売業関係資料（配置業袋・引札）	2	*	匿名希望
59	内島北朗作 徳利・盆	2	美術	吉野弘人氏
60	後井竹の門 絵付中鉢	5	*	寺田白樺洞
61	黒田焼 徳利（製陶・角陶風。画・筏井竹の門）	4	*	*
62	筏井竹の門筆 画帖「眼流帖」	1	*	*
63	筏井竹の門筆「芭」	1	*	*
64	筏井竹の門筆「花」	1	*	*
65	筏井竹の門筆「栴檀」	1	*	*
66	改井徳寛筆「思念」	1	*	*
67	改井徳寛筆 扇面画（花・果物）	1	*	*
68	山口花笠色紙（「春くれは」「まてといふに」）	2	*	匿名希望

## 郷土の歴史資料などの情報を求めています

歴史資料や生活資料は、社会の変遷や興亡の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い展示に生かしたいと思っています。情報をお持ちでしたら、是非当館までご提供をお願いいたします。

# 高岡市立博物館 スケジュール 2014年4月～2015年3月

イベントスケジュール	
展示	イベント・講座
4月 4/1 (通年開催) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろうーひらめき・ミュージアムー」	4/12 呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」(春)
5月	5/17 郷土学習講座(1)「芳春院まつと高岡」
6月	6/21 郷土学習講座(2)「本多政重宛の前田利長書状」
7月	
8月	8/23 ワークショップ「博物館の仕事って何だろう?ーきみも今日から“学芸員”ー」 ワークショップ「さきもチャレンジ!青貝塗マイ箸」
9月	9/20 郷土学習講座(3)「本陽寺と満姫」
10月	10/11 特別講演会「高岡の交通史抄ー古代北陸道から新幹線までー」 11/8 呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」(秋) 11/22 郷土学習講座(4)「前田利長正室永姫」
12月	
1月	
2月	2/7 館蔵品展
3月	3/31 3/31

## ◆呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。茶室見学会終了後は、博物館屋上から古城公園の眺望を楽しめます。公園へのお散歩がてら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



日時：4月12日(土)、11月8日(土)  
両日とも午前10時～午後3時

参加料：400円(お茶とお菓子)

※茶券は当日博物館受付で販売します。

茶室見学会：①午前11時～ ②午後2時～ (聴講無料)

常設展示説明会：①午前11時30分～ ②午後2時30分～ (聴講無料)

## ◆特別展「夢はこぼ“かがやき”ー軌道117年のあゆみー」

会期：2014年7月26日(土)～10月13日(月・祝)〔69日間〕

日本国内における初めての鉄道開通は、明治5年(1872)10月14日の横浜ー新橋間にさかのぼります。ここ高岡でも明治30年(1897)5月、高岡市黒田ー福野間において県内初の民営中越鉄道(現在のJR城端線・氷見線)が開かれ、翌31年には官営北陸線(現在のJR北陸本線)が開通し金沢ー高岡間が結ばれるなど、鉄道交通の発達により徐々に人々の暮らしも豊かに、そして便利になっていきました。その一方で、鉄道は単なる交通・輸送手段としてだけでなく、そこに暮らす人々の夢や明日への希望を運ぶものとしても大きな役割を果たしていたのです。

本展では、平成27年春の北陸新幹線開業にあわせて、当館が収蔵する富山県内外の鳥瞰図や地図、鉄道関係資料等を中心に展示し、高岡における中越鉄道の敷設から現在に至るまでの117年の鉄道にわたる歴史を紹介します。

### ○特別講演会「高岡の交通史抄ー古代北陸道から新幹線までー」

日時：2014年10月11日(土)午後2時～3時30分

講師：樽谷雅好氏  
(高岡市児童文化協会副会長)

会場：当館(新館)  
3階講堂

定員：先着80名  
(先着順・事前申込不要)

受講料：300円



(写真) 小矢部川の橋上を走る中越鉄道  
(明治33年(1900)。当館蔵)

## ◆平成26年度 郷土学習講座

### 「前田利長ゆかりの人々」(全4回)

前田利長とゆかりの深い人々(まつ・永姫・満姫・本多政重)等に焦点をあてた講座を開催。各分野の研究者よりご紹介いただくシリーズ講座です。

#### 〔第1講〕「芳春院まつと高岡」

講師：瀬戸 薫氏(富山高等専門学校教授)

日時：2014年5月17日(土)午後2時～午後3時30分

#### 〔第2講〕「本多政重宛の前田利長書状」

講師：本多 俊彦氏(高岡法科大学法学部准教授)

日時：2014年6月21日(土)午後2時～午後3時30分

#### 〔第3講〕「本陽寺と満姫」

講師：山本 充彦氏(本陽寺住職)

日時：2014年9月20日(土)午後2時～午後3時30分

#### 〔第4講〕「前田利長正室永姫」

講師：見瀬 和雄氏(金沢学院大学文学部歴史文化学科教授)

日時：2014年11月22日(土)午後2時～午後3時30分

〔いずれも〕

- ・会場：当館(新館)3階講堂
- ・定員：先着80名(先着順)
- ・申込：全4回受講の方のみ事前申込要  
(5月10日までに電話にて申込み)  
各回ごとに受講の方は事前申込不要・当日先着順
- ・受講料：〔全4回〕1,000円 〔1回〕300円

— 開館時間 —  
午前9時～午後5時  
(入館は4時30分まで)

— 休館日 —  
毎週月曜日  
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)  
年末年始  
(12月29日～1月3日)

— 交通 —  
JR高岡駅より徒歩15分

— 入館無料 —